

## 1. 麦類の今後の管理について

2019年産の麦は降雨が少なく、播種作業は順調に進みました。また12月から2月までの気温は高く推移し、降雨が少なく、平年に比べ生育が早まりました。大麦の茎立期は3月上旬であり、出穂期は平年より5日早い4月9日でした。小麦についても同じく早まることが予想されます。今後の管理としては、明渠の点検・補修、赤かび病の防除、収穫作業を適正に行い、高品質麦の生産に努めましょう。

### (1) ビール大麦

発芽勢の確保のため、適正な収穫作業を行いましょ。

- ◎ 早刈り厳禁  
収穫適期：8割の穂首が90度以上曲がった頃（穀粒水分25%以下）  
生育ムラがある場合：収穫日を通常の生育よりも1～3日遅らせるか、刈り分けを行いましょ。
- ◎ 適正な収穫作業  
コンバインの掃除を徹底的に行いましょ。回転数は稲よりも1割遅くし、裂皮や剥皮が発生しないか確認しながら作業しましょ。

### (2) 小麦

圃場を観察し、防除適期を逃さないようにしましょ。

- ◎ 赤かび病の追加防除（2回目）  
1回目散布（開花始）の20日後に2回目の薬剤散布を行いましょ。  
同系統薬剤の連用は避け、収穫前日数に注意して薬剤を選びましょ。

## 2. 水稻の育苗ポイント

### (1) 適切な浸種・催芽

浸種時間の目安

- ・浸種は積算温度100～120℃（消毒種子は120～130℃）程度で行ってください。
- ・低温備蓄種子はしっかり吸水させるため、浸種時間を1～2日長くする。
- ・催芽は、28～30℃、18～20時間

種子	水温15℃の場合の浸漬日数 (積算温度)
未消毒種子	7～8日(100～120℃)
消毒種子	8～9日(120～130℃)
低温備蓄種子	8～10日(120～150℃)

ハト胸程度に均一になるようにする。

### (2) 適正播種量

播種は薄播き（箱当たり催芽粒130g）でがっちりとした苗を作らしましょ。

### (3) 播種後の管理

徒長やムレ苗発生防止のため温度管理や、過剰なかん水に注意しましょ。

		展開後1～4日(緑化期)	5～15日	15日～
温度管理	日中	18～25℃(30℃以上にしない)		
	夜間	10℃(最低5℃以上)		5℃～7℃以上
かん水	かん水量	極度に乾燥した時以外は控える。	控え目のかん水に勤める。	1日1回午前中十分に
	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かん水量が多すぎると苗が徒長し、根の生育不良を招く。</li> <li>・低温時のかん水は午前中に行い、夕方のかん水は行わない。</li> <li>・夕方、苗箱の表面が乾く程度が最適です。</li> </ul>		晴れの日にはタップリと、曇りの日は控えめに。

(裏面あり)



## <とちぎの星 品種特性と栽培のポイント>

30年産とちぎの星については、日本穀物検定協会による食味ランキングで最高評価の「特A」を獲得しました。温かいご飯ではもちろんですが、おにぎりなどの冷やご飯でも食味と粘りが良いため、ご飯を口の中で噛むほどに、粘りと弾力のある食感を感じられます。

### 1. 生育と特性

生育についてはあさひの夢に比べて早熟で、早植栽培では出穂期は4日、成熟期は6日植栽培では出穂期は7日、成熟期は6日早く、「中生の中」になります。稈長は長く、穂長やや短く、穂数は多いです。

また、芒（のげ）はやや多く玄米はやや大粒です。稈（わら）は長めで稈の剛柔は中であり、あさひの夢よりは倒伏し易いため栽培に当たっては多肥栽培は行わないようにしましょう。収量についてはあさひの夢よりやや多く、玄米での外観品質はあさひの夢より優れています。

### 2. 耐病性

葉いもち病に対するの抵抗性は「強」、穂いもち病は「やや強」です。また、白葉枯病の抵抗性も「やや強」です。縞葉枯病も抵抗性を持っています。

また倒伏時の穂発芽性ですが、あさひの夢と同程度と思われます。

### 3. 施肥について

とちぎの星の品質向上のため以下の点に注意し、施肥量はあさひの夢より控えましょう。

施肥体系	基肥	施肥量	追肥	施肥量
〃	とちぎの星専用 ひとふりくん	35~40kg/10a	—	—
分施体系	オール 14	20~25kg/10a	BB NK-707、202	10~15kg/10a
〃	BB-F284	〃	〃	〃

※側条施肥を行う場合、更に2割程度ずつ施肥量を減らしましょう。

（その他注意事項）

- ① 栽植密度を60~70株/坪で維持し、収量・品質を確保します。  
坪当り株数（栽植密度）を下げると、品質低下の原因になります。
- ③ 1株あたり本数が多い苗での植え付けは、箱数が増える上に、軟弱茎を増加させてしまいます。